平成２７年度社会教育関係団体による地域パワーアップ事業

日本ボーイスカウト岡山連盟

【事業名】 「もしもに備えて防災とサバイバル教室」

～子どもの育ちを支援する活動～

【実施内容等】親子で防災について学び、もしもの災害に備える技術を体験する。

参加資格　小学校１年生～５年生
　　及びその保護者・祖父母等
参加費　　２００円（昼食、保険代等）
携行品　　筆記用具、雨具（カッパ）
　　運動のできる服装
　　履き慣れた運動靴

実施箇所　総社市山手公民館（１２月６日）
　　※参加者１０７名（一般７５名）
　　津山西苫田公民館（１２月２３日）
　　※参加者５６名（一般４６名）
　　鴨方ビッグハット（２月２１日）
　　※参加者１０３名（一般２１名）

①最初に、災害についてグループで話し合いを行いました。

②ポリ袋と鍋で米を炊く「ポリ袋炊飯」で三角おにぎりを試食。

③新聞紙と割り箸でおこした炭火で、棒パン・マシュマロを焼く。た。

④新聞紙でスリッパ、広告紙でコップ、皿を折りました。

⑤ロープ結びでは、本結び、８の字結び、もやい結びを学習。

⑥救急法では、脈のとり方、三角巾の使い方、担架の作り方を学習。

【成果・効果】・保護者同伴の参加としたことで、家族で災害について考えるきっかけづくりとなっていた。

・ポリ袋炊飯や棒パン作り、新聞紙スリッパ作りやロープワーク等の具体的な技術を学ぶことができた。

・避難時の食料配給時の行列の仕方、静かに並ぶことも体験した。

【今後の改善点】

・ボーイスカウト指導者のサバイバルスキルの向上と防災についての学習。

・今回実施していない地域等での防災・サバイバル教室の実施。

・地域ぐるみ（スカウト、子供会、老人会、婦人会等）でのハザードマップを作り、防災知識の啓蒙と防災訓練の実施。